



前列左から4人目が宮崎文夫さん

当会は昭和三十八年九月、大和市老連創立にやや遅れ発足し、当初から自治会にも属さず独自の活動を続け、今年で満五十四年を迎えました。会の伝統・文化は先人の労苦と汗の結晶として絶えることなく引き継がれてきた名実ともに誇れる老人クラブで、私も第十一代会長として三期六年目を迎えています。

振り返れば今日に至る五十有余年の間、世相の変遷とともに事業内容も活動範囲も拡大変化しており、会の憲法である「規約」も

見直し運用してきました。現代にそぐわない表現、条文解釈による諸行事の実施と伝承など検討を重ね、更には必要に応じて「内規」を策定し、気張らず小回りの利くルール作りを心掛け、自由な発想と幅広い活動ができるよう取り組んできました。

誕生会の記念品贈呈、敬老の集いのお祝い金贈呈、年忘れお楽しみ会の大抽選会など順送りです。班長が会員の意見を参考に企画立案し、役員会で応援する体制を整え実施。また、地域内

ゆめクラブ神奈川は「祝寿共済保険白寿1,300円コース」を推薦いたします。

神奈川県内の自営業の方・中小企業にお勤めの方はもちろん、そのご家族様までご加入いただける安心の保障!!

もしものケガの備えに

祝寿共済保険

はくじゅ

白寿

福祉振興財団 1,300円コース

一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団

〒231-8525 横浜市中区元浜町4-32

フリーダイヤル 0120-180890

イワオーハクジュ

厚生労働大臣表彰を受賞して・・・

大和市桜友会会長

宮崎 文夫

ゆめジャーナル 神奈川

ゆめクラブ神奈川

公益財団法人神奈川県老人クラブ連合会
発行人／三橋 道明 編集／齋藤 武雄
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
電話／045(311)8737 FAX／045(312)4288
印刷／(株)ジェイ・スタッフ

通巻 **194**号 平成30年1月15日 (年2回刊)
発行部数・100,000部
Eメール kanagawa@yumekurabu.or.jp
ホームページ http://www.yumekurabu.or.jp



「クラブをつくろう!」の紹介 ― 第7回 ―

同好会、社協サロンと共存・協力する

――伊勢原市老連「大住台楽笑クラブ」――

●地元で老人クラブをつくろう!

もともと自治会や同好会活動が盛んであったが、石田真臣さんは高齢者同士をつなげる組織の必要性を感じた。組織を作りいよいよ登録(平成28年4月)というその2か月前に石田さんは突然亡くなってしまった。近藤靖彦さん(71歳)は、遺志をついで会長として会をまとめた。

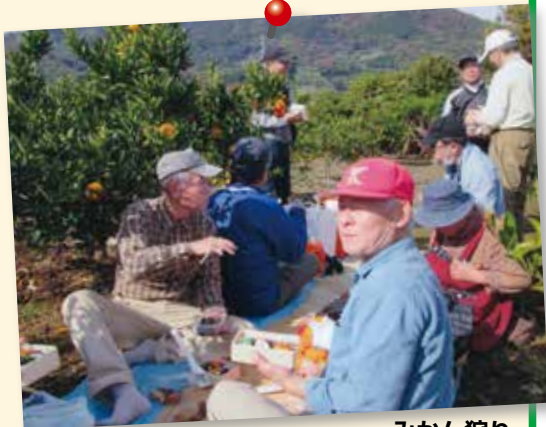
●多彩な同好会と連携して活動の幅を拡大

老人クラブの活動は定例会(月1回)の他に年に10回ほど懇親会やミニ旅行、ミカン狩りなどを開催、公園清掃は2か所を受持ち市からの報酬は活動資金にあてている。既存の同好会、社協のシルバーサロンも自治会館を中心に活動。パークゴルフ、吹き矢、太極拳、ピラティス、囲碁、将棋、麻雀の会、中でもカラオケ同好会は98%が老人クラブ会員。今後も同好会を増やしていく予定だ。

●老人クラブに入りたければどうぞ

強引に入会を勧めない。同好会とシルバーサロン、老人クラブはそれぞれ特徴がありながら重なる活動もある。どこに所属していてもいいのです、と近藤会長は語る。発足時は35人だった会員が現在45人まで増えた。同好会はその種目だけの活動だが、老人クラブができて、他の活動をしている人同士のつながりができたと話す。

写真提供／伊勢原市老連「大住台楽笑クラブ」



みかん狩り



公園清掃



餅つき

老人クラブのご案内 神奈川県

検索

こ
だ
ま

年頭、一年の計

(公財)神奈川県老人クラブ連合会

理事長 三橋道明



新年あけましておめでとうございます。昨年の皆様のお力で、新地域支援事業、担い手養成研修等にご尽力頂き有難うございました。

高齢化が進む中、地域で、安心、安全、楽しく生活できる場づくりを考えていくことが急務であります。

新しい年の計は、元旦にありという言葉があります。中国の「月令広義」の一節、四計から朝でその日が決まり、年ののはじめの決意で一年が決まり、

人生は努力、勤勉さで決まり、一家の将来はその身の振り方、生き方で決まると言われています。健康に勝るものはありません。元気で、仲よく、楽しく、豊かに生きる人生百年の生活設計を、皆さんで描いてみましょう。

ゆめクラブ神奈川は「祝寿共済保険白寿1,300円コース」を推薦いたします。

神奈川県内の自営業の方・中小企業にお勤めの方はもちろん、そのご家族様までご加入いただける安心の保障!!

もしものケガの備えに

祝寿共済保険

はくじゅ

白寿

福祉振興財団 1,300円コース

一般財団法人 神奈川県経営者福祉振興財団

〒231-8525 横浜市中区元浜町4-32

フリーダイヤル 0120-180890

イワオーハクジュ

ゆめクラブ神奈川事務局から

平成二十九年度の行事や事業は、皆様のご理解とご協力をいただき、おむね順調に進捗しているところですが、その中からいくつか報告させていただきます。

「全国大会等への参加」

○関東甲信越静ブロック

老人クラブリーダー研修会

六月二十九日～三十日にかけて、千葉県千葉市で一都十県五市が参加して開催され、本県からは三橋理事長をはじめ十一名が参加しました。一日目は、初めに平成二十九年度関ブロック会長表彰式典が行われ、本県では三名が受賞しました。

次に全国老人クラブ連合会の谷野香事務局長から、「老人クラブ組織の発展に向けてー全国運動、行動提案等ー」と題して、高齢者を取り巻く社会情勢や、老人クラブ「二〇〇万人会員増強運動（第四年次）」の推進及び新地域支援事業に向けた取組みについての行動提案等の基調報告がありました。

その後、東京都健康長寿医療センター研究所の谷口優博士から、「認知症予防のABC」ノルディック・ウォークへの期待」と題して、認知症予防には体力、栄養バランスの良い食事、社会参加が重要であり、中でも体力維持には歩行機能を強化するノルディック・ウォークに効用が期待されるとの講演がありました。

さらに、ノルディック・ウォークを活用した健康づくりについて、静岡県、横浜市、千葉市から事例発表が行われました。

二日目は、全日本ノルディック・ウォーク連盟のウォーキングライフマイスターによるノルディック・ウォークの講習会が行われ、百五十人以上が実際にポールを持って、思いのペースでノルディック・ウォークを体験しました。

来年度は七月に東京都品川区で開催される予定となっています。



○第四十六回

全国老人クラブ大会

今年の大会は、十月十八日～十九日に京都府京都市で開催されました。

一日目は、活動交流部会として、①老人クラブ活動を新地域支援事業に活かす②組織的推進による会員増強運動の展開③演じる活動（舞台発表）の三部会に分かれて、ロームシアター京都とみやこめっせの二会場で行われました。

二日目は、ロームシアター京都で、真宗大谷派僧侶でアナウンサーでもある川村妙慶氏から、「心の荷

物をおろす百八の知恵」と題して、引き受けすぎた心の荷物を一旦おろして点検し、輝いて生きようという講演がありました。

その後アトラクションと休憩の後、表彰式典が行われ、厚生労働大臣表彰では、本県から二名が老人クラブ育成成功労者、一クラブが優良老人クラブ、一老連が優良市区町村老人クラブ連合会として受賞しました。

また、全老連会長表彰では、本県から二名が育成成功労表彰、一クラブが優良老人クラブ表彰、一老連が優良市区町村老人クラブ連合会表彰を受賞しました。

祝辞の後、京都府老人クラブ連合会中川副会長・女性委員長により大会宣言が朗読され、次回大会開催地である沖縄県老人クラブ連合会の山内会長からご挨拶があり、全老連安達副会長（島根県老人クラブ連合会会長）の閉会の言葉で終了しました（第四面の写真をご参照ください）。

【役員・活動推進員合同研修会】

七月二十日、かながわ県民センターのホールにおいて、県老連の役員や活動推進員など計九十名の参加をいただき、役員・活動推進員合同研修会を開催しました。

今回の研修は、本研修終了後、休憩をはさんで開催した地域支援事業担い手養成研修・シンポジウムと併せて「新地域支援事業」をテーマとし、（公財）全国老人クラブ連合会の谷野香事務局長から、「新地域支援事業への参画、老人クラブの友愛活動」と題して、老人クラブの新地域支援事業へのかかわり方について基調報告をしていただきました

た。

【地域支援事業担い手養成研修】

今年度、新たに神奈川県から委託を受けて、高齢者が地域支援事業の担い手として活躍するための研修を行うもので、モデル地区、ブロック、全体シンポジウムの三段階の研修で、地域の支え合いの担い手として必要な知識や技能を学ぶ機会としていただこうというものです。

モデル地区六箇所及び六ブロックで地域の状況に応じて開催するとともに、七月二十日にはかながわ県民センターのホールでシンポジウムを開催し、百十五名にご参加いただきました。

シンポジウムでは、（公財）さわやか福祉財団の丹直秀理事のご講演と、二地域での活動事例のご報告をいただいた後、報告者にもご参加いただいてパネルディスカッションを行いました。詳しくは第三面及び第四面の写真をご覧ください。

【ゆめクラブ大学】

この事業は、神奈川県からの事業委託を受けて、老人クラブ活動との連携・協働により、健康寿命日本一に向けて介護予防、生きがいづくりの支援に取り組むものです。

今年度も、別表のとおり六ブロックで二回ずつ、県内在住の高齢者を対象として、高齢者の健康づくり等に係る実技も含めた講座を開講しており、出席者には修了証を交付しています。

毎回たくさんの方に参加していただいております。アンケート結果でも高評価をいただいております。毎日を元気に楽しく暮らすためのヒントとしていただければ幸いです。

ご自宅のお悩み・お困り事をスッキリ！

「仕分コンシェルジュ」
フリーダイヤル 0120-787-441 (受付 平日 9:00～17:00)

忙しくて、ご自宅の整理がなかなか進まないことってありませんか？

「仕分コンシェルジュ」は、専門家が大切な物と、不要な物を仕分けして整理整頓や買取のアイデアを提供、スッキリとした暮らしをご提案致します。



お問い合わせは無料です。お見積りも無料です

一般社団法人 なのはなシニアサポート 〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-9-1 WTC 千葉富士見ビル 4 階
TEL.043-306-5847 FAX.043-306-5848

あさひ国際旅行

石和温泉 冬花火

～笛吹川の舞～

※ 出発日：2月23日(金)～24日(土)

※ 旅行代金：16,800円

旅行詳細・お問い合わせ先は下記まで

あさひ国際旅行 平塚(営) ☎ 0463(35)2100
株式会社 横浜(営) ☎ 045(730)3381

「老人クラブ二〇〇万人会員増強運動」の平成二十八年度状況について

平成二十八年度の会員増強運動の概要ですが、全国六十二道府県・指定都市老連の三年次目標二十万七千九百六十三人に対して実績は△十七万三千三百六十三人と大きく下回り、目標の達成及び会員が増加した老連はありませんでした。

県老連の状況ですが、目標増加数三千三百五人に対して実績は△三千八百二十二人で会員が増加した老連は九老連、減少した老連が二十一老連という結果でした。

目標を達成した老連も二老連ありませんでした。

会員とクラブの増強は老人クラブ活動を活性化し、将来の発展の基盤となる重要な取組です。今後も、共通実施運動である、①日頃の勧誘活動②クラブのPR③新規クラブの立上げ促進の三つの運動を推進し、目標達成に向けて積極的な取組をお願いいたします。運動展開に当たってお困りの点などがあれば、県老連事務局へもご相談ください。

ゆめクラブ大学(別表)		
横三	10月19日	神奈川県立保健福祉大学
	10月26日	
湘南	9月28日	伊勢原市老人福祉センター「阿夫利壮」
	2月16日	平塚市中央公民館
県央	9月7日	海老名市立総合福祉会館
	9月21日	
西湘	8月1日	おだわら総合医療福祉会館
	2月	湯河原町
足柄上	11月15日	中井町農村環境改善センター
	11月24日	松田町民文化センター
相模原	7月～8月	サン・エールさがみはら
	11月～12月	おださがプラザ

神奈川県委託事業

地域支援事業 担い手養成研修実施中

県老連、ブロック、モデル地域でそれぞれ研修などを行っています。

地域支援事業担い手養成研修

シンポジウム

※写真は4面をご覧ください。

平成29年7月20日(木) かながわ県民センター

●講演「地域の支え合いをどう創るか」
(公財)さわやか福祉財団 理事 丹 直秀

●事例報告

①「若葉台・福祉のまちづくりに寄与するために」
横浜市NPO法人若葉台 理事長 白岩 正明

②「世代間交流のキーパーソンは？」
平塚市花水地区町内福祉村 副会長 林田 直子

次回

地域支援事業担い手養成研修

シンポジウム2

日時 平成30年1月29日(月)

会場 藤沢市商工会館

●モデル地区報告

●【講演】(公財)さわやか福祉財団 会長 堀田 力
詳しくはホームページをご覧ください。



清川村(モデル地区担当)

「煤ヶ谷地区の課題」を個々に出し合い整理しました。

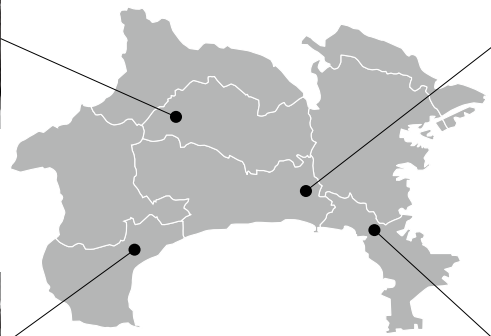


西湘ブロック(ブロック担当)

「助け合い体験ゲーム」を通して地域の支え合いを考えました。

モデル地区養成研修

& ブロック養成研修



	モデル地区担当	ブロック担当
横 三	逗 子 市	葉 山 町
湘 南	藤 沢 市	秦 野 市
県 央	清 川 村	清 川 村
西 湘	小田原市	小田原市
足柄上	南足柄市	南足柄市
相模原	相模原市	相模原市



藤沢市(モデル地区担当)

老人クラブ、他団体が活動課題を出し合いました。



横三ブロック(ブロック担当)

県立保健福祉大学の先生による講習会。

『新地域支援事業(介護予防・日常生活支援総合事業)』を各自治体が計画・実施していく中で、老人クラブも積極的に協力できる部分があります。訪問型サービス(友愛訪問など)、通所型サービス(友愛サロンなど)、見守り事業(友愛活動全般)、一般介護予防事業(健康づくり等)がそれにあたります。

平成29年度ゆめクラブ活性化推進事業募金活用事業

「ニュースポーツ交流の集い開催事業」
助成金 620,000円

《横須賀・三浦ブロック》	助成金額 100,000円	※平成29年 11月 9日(木) 逗子市池子の森運動公園 陸上競技場	171人参加
《湘南ブロック》	助成金額 110,000円	※平成29年 11月 9日(木) 秦野市なでしこ運動広場	171人参加
《県央ブロック》	助成金額 110,000円	※平成29年 12月15日(金) 座間市市民体育館 大体育室	約70人参加予定
《西湘ブロック》	助成金額 110,000円	※平成29年 6月 6日(火) 小田原市酒匂川スポーツ広場	144人参加
《足柄上ブロック》	助成金額 100,000円	※平成29年 11月 7日(火) 大井町総合体育館	91人参加
《相模原ブロック》	助成金額 90,000円	※平成29年 11月 8日(水) 相模原市北公園スポーツ広場	293人参加

上記のとおり、会員の皆様の身近な市町村老連支援活動に活用をさせていただきました。また、会場では参加者の皆様にも募金のご協力をいただき、ありがとうございました。今後とも募金のご協力をよろしくお願いいたします。(募金は単位クラブでとりまとめていただき、郵便払込用紙にてお振込いただきますようお願いいたします。ただし、募金は強制ではありません。)

計 報

本会評議員 高村 弘氏におかれましては、去る平成二十九年十月二十二日逝去されました。謹んでお知らせいたしますとともに、ご冥福をお祈りいたします。
(伊勢原市老連会長。行年八十四歳。)

すでに関東の360会場会場で開催し、大好評!!(出張型)

無料

タブレットを使った脳トレ体験講座を
あなたのクラブで開催してみませんか?

脳トレーニング体験講座

「簡単!」「便利!」「面白い!」と、タブレットを使った無料の脳トレ講座はひっぱりだこ。認知症予防にもつながる体験を、ぜひこの機会に!

●お孫さまやお子さまとテレビ電話やメールをしたり、大きな文字の新聞を読んだり、ゲームを楽しんだり、まだまだ使い方がいいっぱいの楽しい生活がはじまります。まずはご参加ください。



タブレットは人数分をご用意して伺います



94歳のシニアも「できた!」



お申し込み
お問い合わせは

一般社団法人なのはなシニアサポート
千葉市中央区富士見 2-9-13WTC 千葉富士見ビル 4階

フリーダイヤル

0120-331-206

ゆめクラブ 神奈川の動き

②
全老連リーダー
中央セミナー



大友氏 (小田原市)、箕島氏 (大磯町) の2名が参加。
会員増強などについてグループ協議も行いました。

①
新事業
「地域支援事業
担い手養成研修・
シンポジウム」

地域支援事業 担い手養成研修・シンポジウム



地域の支え合い活動について、取組事例などから学びました。左から 丹氏 (さわやか福祉財団)、谷野氏 (全国老人クラブ)、白岩氏 (横浜市 NPO 法人若葉台)、林田氏 (平塚市花水地区町内福祉村)

③
赤い羽根共同
募金街頭活動



全老連会長表彰ならびに厚生労働大臣表彰の受賞者された方々です。座間夫妻 (相模原市)、菅氏 (寒川町)、鈴木夫妻 (相模原市)、小宮氏 (平塚市)、市川氏 (小田原市)、高橋氏 (相模原市)、曾根氏 (座間市)

④
全国老人
クラブ大会
(京都市)



女性会議メンバーが横浜駅西口にて募金を呼びかけました。

⑤
功労者の
つどい



県知事表彰は8団体、6個人が
理事長表彰は32団体、72個人が受賞しました。

歌集「みんなで歌う 新・心のうた200選」コピー版提供のお知らせ



A4サイズで1頁に2曲。両面印刷です。
詳細は“ゆめクラブ神奈川”のホームページで
ご覧いただけます。

ご希望の方は住所・氏名・電話番号・希望
部数を明記の上、FAXまたはおハガキにて神
奈川県老連事務局へお申込みください。
〒221-0844 横浜市神奈川区沢渡4-2
(公財) 神奈川県老人クラブ連合会 宛
FAX 045-312-4288
1部500円(別途送料)代金はコピー版受取
後、同封の郵便払込票にてお支払いください。



従来の「心のうた」
も引き続きご注文
いただけます。

県老連の動き

平成29年

7月 健康づくり実践教室 (県央ブ
ロック)

4日 正副理事長会

7日 正副理事長会

13日 関フ口活動推進員会議 (茨
城県)

15日 ゆめジャーナル発行

20日 事業活動基金管理委員会

役員・活動推進員合同研修会
地域担い手養成研修シンポジ
ウム (写真①)

8月 8日 全老連リーダー中央セミ
ナー (写真②)

9月 1日 正副理事長会

20日 全国一斉社会奉仕の日

28日 関フ口連絡協議会 (埼玉
県)

10月 1日 赤い羽根共同募金街頭募金活
動 (写真③)

6日 理事会・正副理事長会

16日 ゆめジャーナル編集委員会

18日 全国老人クラブ大会 (写
真④)

11月 6日 正副理事長会

17日 功労者のつどい (写真⑤)

12月 4日 全老連会長会議

8日 正副理事長会

11日 事業活動基金管理委員会
役員研修会

平成30年 1月 平成30年賀詞交歓会

15日 ゆめジャーナル発行

24日 女性会議研修会 (第2回)

29日 地域支援事業担い手養成研修
シンポジウム (第2回)